

令和6年度

栄小学校 4年

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 知ろう！育てよう！やってみよう！「藍」
(活動名)

ねらい： 西東京市の藍文化を継承する「下保谷の自然と文化を記録する会」の方々から、藍の土づくり、栽培、水やり、収穫、葉の乾燥、染め等の過程を学ぶ体験を通して、地域の歴史の中で受け継がれてきたものを守っていこうとする気持ちを育てる。また、藍について知ったことや調べたことをまとめ、発表する力を身に付ける。



【令和6年5月】

「下保谷の自然と文化を記録する会」のみなさんにご指導をいただきながら、藍を育てるための畑を耕し、肥料を撒きました。ポットに種をまき、教室のベランダで育てたのち、畑に植え替えをしました。



【9月中旬】

畑で大きく育った藍を収穫しました。藍は種から大きく育ち、多くの葉をつけました。その後、教室で丁寧に葉を取り、約2週間乾燥させました。乾燥する過程で変わっていく藍の匂いも楽しみました。



【10月30日】

収穫して乾燥させた藍を煮出した液にハンカチをひたして、「藍染め体験」をしました。楽しい体験はもちろんのこと、自分だけの模様染め上がったハンカチをみて、笑顔いっぱいの子供たちでした。



【10月～1月】

西東京市の自然、文化である「藍」を、誰に、どのように伝えるか、クラスで話し合いました。グループごとに内容を決め、発表に向けて計画、練習しました。グループごとに、「藍」や「藍染」について知ってもらえるように、工夫してまとめました。保護者の方や他校の児童に向け発表を行いました。



まとめコラム

「下保谷の自然と文化を記録する会」の皆さんに、藍のことを教えていただき、土づくりから藍染めまで体験することができました。体験の後には、さらに藍について調べ学習を行い、自分たちが体験したことや学んだことを、どのように広め、地域の文化を残していくかを考えたり、藍についてまとめ、発表したりすることができました。

